

## 広島労働局長からの周知協力の依頼通知（抜粋）

以下に通知の鑑をご紹介します。同通知は鏡を含め全 23 枚（頁）で、記以下には、第1 改正の趣旨、第2 改正の概要及び第3 細部事項が示されています。これらは、次の通達に示されています。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T220418K0030.pdf>

また、記の前に紹介されている URL は、「一人親方等の安全衛生対策について」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/anzen/newpage\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00008.html)  
です。

広労発基 0426 第8号  
令和4年4月26日

関係団体の長 殿

広島労働局長  
(公印省略)

### 労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行等について

皆様におかれましては、平素より労働基準行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

石綿にばく露した労働者等が石綿肺、肺がん、中皮腫等の健康被害を被ったのは、国が規制権限を適切に行使しなかったためとして、建設業の元労働者等やその遺族等が国を相手取って国家賠償請求訴訟を提起した「建設アスベスト訴訟」の最高裁判決が令和3年5月17日に出されました。同判決では、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号。以下「法」という。）第22条の規定は、労働者と同じ場所で働く労働者以外の者も保護する趣旨等とされました。

同判決を踏まえ、労働者以外の者に対する保護措置を新たに定める労働安全衛生規則等の一部を改正する省令（令和4年厚生労働省令第82号。以下「改正省令」という。）が令和4年4月15日に公布され、令和5年4月1日から施行することとされたところ です。

その改正の趣旨、内容等は下記のとおりです。これまで労働安全衛生法の保護対象としてこなかった労働者以外の者に対して、新たに事業者措置義務を課す改正となりますので、関係する事業者、一人親方等に十分に周知が図られますよう、皆様におかれましては、傘下の会員の皆様など関係する団体、事業者等に対する周知にご協力を賜りますよう、よろしく願います。

なお、周知に活用いただけるよう、パンフレットも併せてお送りいたします。

また、関連情報は以下の厚生労働省HPに掲載しておりますので、併せてご参照・周知いただけますよう、よろしく願います。

<URL>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/anzen/newpage\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00008.html)

記

#### 第1 改正の趣旨

石綿にばく露した労働者等が石綿肺、肺がん、中皮腫等の健康被害を被ったのは、国が規制権限を適切に行使しなかったためとして、建設業の元労働者等やその遺族等が国を相手取って国家賠償請求訴訟を提起した「建設アスベスト訴訟」の最高裁判決が令和3年5月17日に出された。

1

※広島労働局からの通知は紙媒体で頂いたもので PDF に加工すると読みづらい部分があるため、本省通達をご紹介します。

